

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	文化財保護事業			事業番号	008-049
担当部署名	文化観光	局	文化	部	文化財課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—	—	—
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	—	—
			無	現状値	—	目標値	—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
			無	取組	—	—	—
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	—	—
			無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画			
3	事業開始年度	昭和 40 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	文化財保護法・大阪府文化財保護条例・堺市文化財保護条例		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁・出先機関（文化財課分室）・その他（文化財所有者・文化財保存団体）
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市内所在の指定・登録文化財および埋蔵文化財
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	<ul style="list-style-type: none"> 指定文化財の恒久的な保存・保護・育成及び活用 個人住宅、兼用住宅の建設にかかる埋蔵文化財調査費用負担の軽減 出土遺物の恒久的な保存
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<ul style="list-style-type: none"> 本市所有の文化財については直接、保存等を行い、本市所有以外の指定文化財については、所有者・団体に補助金を交付する。 埋蔵文化財緊急発掘調査により遺跡の状況を確認し記録する。 陶器城跡の市史跡指定に向けた範囲確認調査を実施する。 出土遺物の化学的な保存処理を行う。
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	委託業者、文化財所有者・文化財保存団体
10	公民連携・協働事業	

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	
11 適切に保存保護・公開が可能となった文化財の件数	件	目標値	—	16	16	16	
		実績値	16	16			
		達成率	—	100%			
当該指標を選定した理由		文化財の恒久的な保存・保護・育成及び活用に必要な修理などが目標の達成に直結しているため。					
目標値の設定根拠・算出方法		実際の実施件数（実績）					
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標		
			令和元年度	令和2年度	令和3年度		
12 埋蔵文化財確認調査件数	件	目標値	—	18	13		
		実績値	25	16			
		達成率	—	89%			
当該指標を選定した理由		個人住宅建設などで必要な埋蔵文化財調査の実施件数が負担の軽減にも反映しているため。					
目標値の設定根拠・算出方法		実際の調査件数（実績）					

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	文化財保護事業	事業番号	008-049
-------	---------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

（単位：千円）

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	10,830	14,599	12,329	10,969	10,891
13 財源内訳					
国支出金	1,422	4,706	2,387	1,570	2,134
府支出金	119	120	100	60	45
市債					
その他 ()					
受益者負担金(使用料、手数料等)				14	
一般財源	9,289	9,773	9,842	9,325	8,712
14 人件費 (b)	15,990	19,440	17,480	17,480	17,480
15 年間経費(c)=(a)+(b)	26,820	34,039	29,809	28,449	28,371

事業費の内訳

（単位：千円）

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源
会計年度任用職員報酬	R2 決算	541	271	埋蔵文化財緊急発掘調査業務	R2 決算	941	572
	R3 予算	455	228		R3 予算	1,000	500
堺市文化財情報システム (GIS) 保守点検業務	R2 決算	550	550	文化財説明板表示更新等業務	R2 決算	179	179
	R3 予算	550	550		R3 予算	200	200
測量業務	R2 決算	296	148	指定文化財樹木保護増殖業務	R2 決算	673	613
	R3 予算	300	150		R3 予算	891	846
文化財発掘調査業務	R2 決算	1,112	616	文化財補助金	R2 決算	5,736	5,736
	R3 予算	990	495		R3 予算	4,270	4,270
出土遺物保存処理業務	R2 決算	482	241	その他 (需用費、役務費など)	R2 決算	459	399
	R3 予算	725	362		R3 予算	1,510	1,111

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
17 ① 埋蔵文化財確認調査件数	件	25	16
② 上記①にかかる年間経費	千円	1,163	942
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	46,520	58,875
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	埋蔵文化財確認調査件数が目標値を下回ったのは、調査必要と判断される事案そのものが減少したことが原因であり、背景にはコロナ禍による経済活動の抑制など社会情勢の変化があげられる。
----	---

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	指定文化財の管理・保存修理・後継者育成などの事業を展開することで、文化財の所有者や保存団体の負担軽減に加えて文化財保護に対する意識をさらに深めるきっかけともなり、事業目標である指定文化財の恒久的な保存・活用に直接的な効果が得られる。
----	--